

福島から広島が学ぶこと ～放射線被害を断ち切るために～

■第1部 講演

演題 「〈核災地〉福島の、いま」

講師 **若松 丈太郎 さん**

詩人／福島県南相馬市在住

コメンテーター

アーサー・ピナートさん 詩人／HANWA運営委員

等々力 隆広さん 福島原発からの避難者

■第2部 パネルディスカッション

パネリスト

ピーター・ベッカー弁護士 (ドイツ)

「独脱原発への牽引について」

国際反核法律家協会 (IALANA) 共同代表

ドイツ反核法律家協会会長

ベラ・ヴァティアさん (インド)

「インドウラン鉱山やインド反原発運動の現状について」

独立研究者・ライター・運動家

タタ社会科学研究所名誉教授

アーサー・ピナードさん

若松丈太郎「ひとのあかし」を英訳共著

田中 利幸さん HANWA共同代表 広島平和研究所教授

コーディネーター

森瀧 春子さん

HANWA共同代表

主催：核兵器廃絶をめざすヒロシマの会 (HANWA)

共催：NO DUヒロシマ・プロジェクト

日時 2012年 8月6日(月) 15:30～18:30

場所 広島市まちづくり市民交流プラザ 6Fマルチメディア

広島市中区袋町6番36号 TEL 082-545-3911 FAX 082-545-3838

資料代 700円

福島原発大事故が明らかにした原子力の「軍事利用」と「平和利用」表裏一体の核開発推進の実態とは。原発再稼働の強行、原発推進政策の続行、核燃サイクル推進に隠された核保有の意図など厳しい現実に抗し得る民衆の力強い連帯を作り出そう。福島に学び、さらなる核被害を断ち切るために。

若松丈太郎さん プロフィール

1935年生まれ。福島大学卒業後、福島県で高校教師に。

詩集に、「夜の森」(1961年福島県文学賞受賞)

「海のほうへ 海のほうから」(花神社 1988年福田正夫賞受賞)

「いくつもの川があって」(花神社 2001年福島民報出版文化賞受賞)

「越境する霧」(弦書房 2004年)

「北緯37度25分の風とカナリア」(弦書房 2004年)

「ひとのあかし」(清流出版 2012) など多数。

日本ペンクラブ会員。日本現代詩人会会員。

「原発を問う民衆法廷東京」で意見陳述。福島県南相馬市在住。

核兵器廃絶をめざすヒロシマの会

Hiroshima Alliance for Nuclear Weapons Abolition (HANWA)

【共同代表】 青木克明 田中利幸 河合護郎 森瀧春子

【事務局】 〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11第7ウエノヤビル 5F

広島県生活協同組合連合会内

電話 082-532-1311 FAX 082-232-8100

Eメール hanwa@e-hanwa.org

ホームページ <http://www.e-hanwa.org/>

郵便振替 「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」01300-2-50889